売上入力

売上入力では、得意先、現場への売上を入力し、売上伝票を作成します。
また、検収入力や請求締切処理で作成された消費税伝票の編集もできます。

※新規登録・修正・削除、キー操作方法などは「伝票入力画面　共通基本操作」を参照してください。

1）売上入力概要

Point

・売上入力から（レンタル以外の）売上伝票を新規作成することもできますが、基本的に売上入力は
作成された売上伝票を修正する場合に利用します。

・レンタルの売上伝票は売上入力から新規作成できません。
レンタル分は必ず受注入力から登録してください。

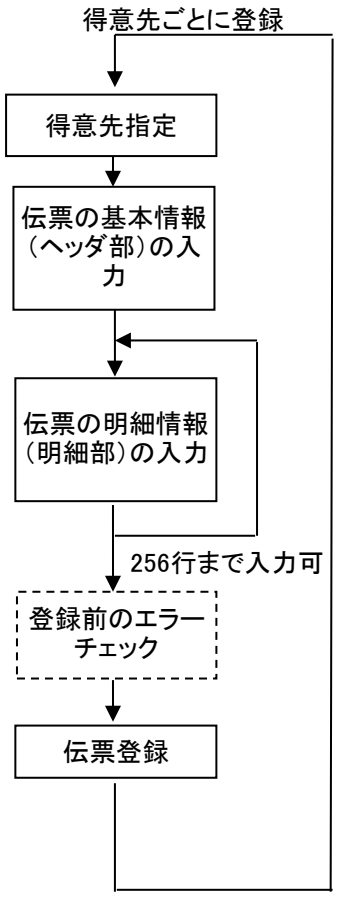
・売上伝票が作成される処理は以下の通りです。
- 受注入力の出荷/更新ボタンで出荷処理　・・・　一括、日極一括レンタルの出荷（初月）売上伝票
- 請求締切処理　・・・　一括、日極一括レンタルを除くレンタルの売上伝票
  一括、日極一括レンタルの継続（初月ではない）売上伝票
  請求時一括消費税伝票
- 検収入力　・・・　引取時の販売品、レンタル品の売上伝票
- 整備売上入力　・・・　整備費用の売上伝票

一旦作成された売上伝票は
- 売上入力にて金額などを修正することができます。（変更できるのは一部項目のみ）
- 検収入力から作成された伝票は売上入力での削除はできません。

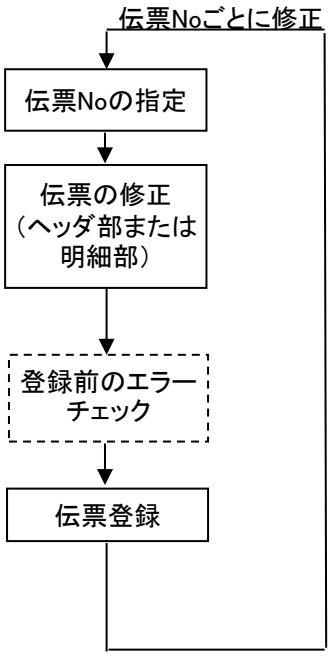
※レンタル売上については請求締切処理で再作成される場合があります。
再作成しない場合は請求締切処理で「売上データを再作成する」をOFFにして実行してください。

- 売上入力の操作の流れ

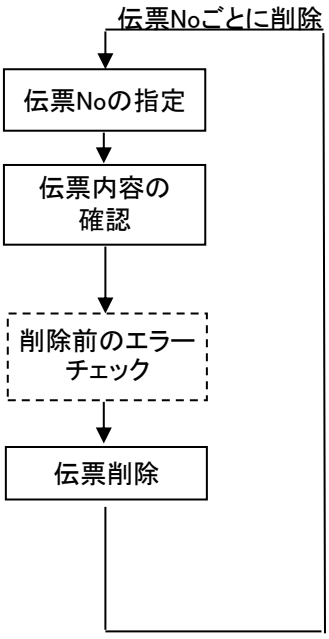
ⅰ）新規登録



ⅱ）伝票修正



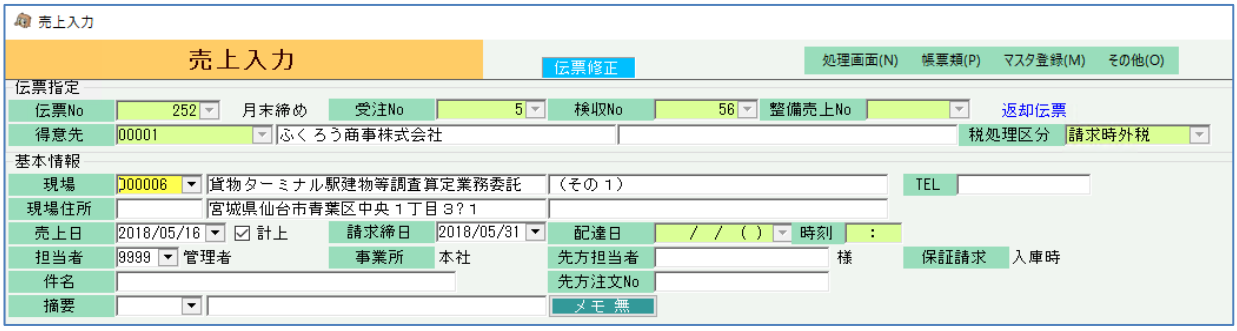
ⅲ）伝票削除



※売上伝票の伝票Noは重複可能です。
同じ伝票Noが存在した場合は、伝票一覧が自動で表示されます。
表示された中から対象となる伝票を選択します。

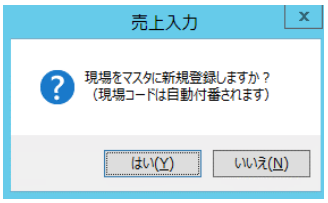
2） 基本情報（ヘッダ部） 項目の説明

入力画面の上部にある基本情報をヘッダ部と呼びます。
ヘッダ部には、1伝票共通で設定できる項目が表示され、入力することができます。



・項目によっては、上部メニューの「その他」→「伝票設定」から表示/非表示を
設定することができます。
非表示に設定した項目は画面上に表示されなくなりますが、値は設定されます。
設定内容はログイン担当者別に保存されます。

項目名称	説明
伝票No	ほぼ全ての帳票類、伝票類に印字される伝票Noです。 採番管理登録の設定によっては重複することもあります。 （SPACEまたはF4キーで検索画面表示）
受注No	受注伝票を元に作成されている売上伝票で表示されます。 入力はできません。
検収No	検収伝票を元に作成されている売上伝票で表示されます。 入力はできません。 検収入力だけでなく整備売上入力から作成された売上伝票でも表示されます。
整備売上No	整備売上伝票を元に作成されている売上伝票で表示されます。 入力はできません。
得意先	売上先の得意先コードを指定します。マスタ検索からの選択も可能です。 （SPACEまたはF4キーで検索画面表示） 得意先コード欄をダブルクリックすると、得意先登録が表示されます。 **Point** ・伝票登録後に得意先を変更することはできません。 変更する場合は「複写」ボタンで別の得意先を指定して伝票複写にて新規作成後、元の伝票を削除してください。 （ ただし「複写」時にレンタル系の明細行は複写されません） ・得意先の使用区分を「売上停止」「使用しない」に設定されている得意先は指定できません。
得意先名１、 得意先名２	指定した得意先の名称を初期表示します。 手入力にて入力することもできます。 **Point** ・変更した場合は当伝票にのみ有効です。得意先マスタは変更されません。 ・納品請求書(都度請求用の納品書)に印字されます。 ・請求書には、得意先マスタの値が印字されます。 （伝票で入力した得意先名は印字されません）
締切形式	都度/月締　を選択できます。 新規入力時は得意先の締切形式を表示します。 **Point** ・締切形式＝都度、税処理区分＝請求時外税　の組み合わせで登録はできません ・締切形式＝月締、税処理区分＝伝票毎外税　の組み合わせで登録はできません

項目名称	説明
税処理区分	伝票の税処理区分(請求時外税/伝票毎外税/税計算なし)が表示されます。 伝票の新規入力時は得意先の税処理区分を表示します。 受注伝票を引き継いで作成された場合は、受注伝票の税処理区分が設定されます。
原価のみ 変更ﾎﾞﾀﾝ	伝票No指定後に、このボタンをクリックすると、原価のみ変更できる修正モードで 伝票が表示されます。 Point ・請求書発行後に売上伝票を変更した場合、請求締切処理が再度必要になりますが、 原価のみ変更する場合はこのボタンをクリックすることで、締切処理は不要になります。
現場ｺｰﾄﾞ	売上する現場のコードを指定します。マスタ検索からの選択も可能です。 (SPACEまたはF4キーで検索画面表示) 受注リレーしている場合は、売上伝票作成時の受注伝票の現場が初期セットされます。 現場コード欄をダブルクリックすると、現場登録が表示されます。 現場は任意の項目です。指定しなくても構いません。 現場を指定すると、各帳票で現場別に集計することができます。 請求書では現場別改ページすることができます。 Point ・伝票登録後に現場を変更することもできます。 ・「現場コード入力なし」かつ「現場名１入力あり」で伝票を登録すると、現場マスタに 新規登録するか確認するメッセージが表示されます。「はい」をクリックすると、現場 マスタに現場が自動登録されます。  ・伝票から現場名、現場住所、TEL、先方担当者 がコピーされ、現場マスタに登録されます。 (先方担当者は得意先の先方担当者と異なる場合のみ) ・現場コードは連番で自動付番されます。
現場名	現場を指定すると、現場名１、現場名２が初期表示されます。 現場名は手入力にて入力することもできます。 Point ・納品請求書(都度請求用の納品書)に印字されます。 ・請求書に表示される現場名は、現場コードより取得した現場マスタの現場名です。 ・変更した場合は当伝票にのみ有効です。現場マスタは変更されません。 ・伝票登録後に現場名を変更することもできます。
現場住所１，２ TEL	得意先マスタより住所１、２、TELが初期表示されます。 手入力することもできます。 Point ・納品請求書(都度請求用の納品書)に印字されます。

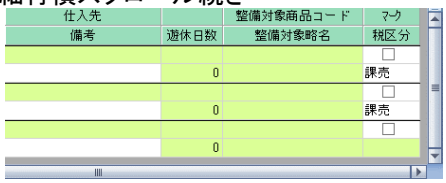
項目名称	説明
売上日	売上日(伝票日付)を入力します。 売上額の計上日です。 Point ・運用設定で指定した入力期間制限を超える日付を指定できません。 入力期間制限を超えている場合伝票登録時にエラーになります。
売上計上	チェックONの場合、各売上帳票で売上金額が集計されます。 (売上明細表など一部帳票では計上OFFでも検索、集計することができます) チェックOFFの場合は、売上金額は計上されず、各伝票で集計されません。 Point ・金額はまだ計上しないが伝票登録する必要がある(在庫を減らすためなど)場合などに チェックOFFで登録します。
請求締日	売上日を入力すると得意先マスタの登録内容から自動で設定されます。 例)・月締めで締日が20の得意先の場合 売上日2006/05/16 ⇒ 締日 2006/05/20 ・都度請求の場合 売上日と同じ日が請求締日に設定されます。 Point ・売上を次々回請求締分にしたい場合などは締日を手入力で訂正します。 ただし、得意先マスタに設定されている締日以外の日は指定できません。 ・都度請求の場合は、請求締日は自由に設定できます。 ・直近の締めがマスタに指定された決算日の場合、その決算日が締日として表示 されます。 ・運用設定で指定した入力禁止締日以前の請求締日の伝票は変更できません。 ・売上入力画面で請求締日を変更しても、レンタルの請求期間は変更されません。 ・締日や得意先決算を変更するなどして請求期間も変更したい場合は、再度継続 処理を行って、売上伝票を再作成してください。
配達日 配達時刻	商品の引渡日、時刻を指定します。 Point ・在庫計算は配達日で商品の在庫が減少します。 ・受注リレーしている場合は、出荷時の(初回の)売上伝票のみ、受注伝票の配達日、 配達時刻がセットされます。(変更できません) ・継続処理で作成された継続伝票(2ヶ月目以降の売上伝票)には、配達日、配達時刻 は設定されません。 ・入出荷予定表は受注伝票から予定を表示しているため、受注リレーせずに売上入力 した伝票の配達日、配達時刻は入出荷予定表には表示されません。 ・納品請求書(都度請求用の納品書)に印字されます。
担当者	営業担当者を指定します。 コードを直接手入力するか、SapceまたはF4キーにてマスター覧より選択できます。 得意先マスタの営業担当者が初期表示されます。 事業所名は担当者横に表示されています。担当者の所属する事業所が表示されます。 事業所は伝票ごとに保持されていますので、登録後に担当者の所属する事業所が 変更となってもデータにセットされた事業所は変更されません。 Point ・「他事業所データ変更可」(担当者マスタ)の権限がない担当者でログインしている 場合は、他事業所の伝票を登録(追加、更新、削除)できません。

項目名称	説明
先方担当者	得意先(現場)のご担当者名を入力します。 現場の先方担当者が優先して表示されます。手入力することもできます。 Point ・納品請求書(都度請求用の納品書)に印字されます。
件名	件名を入力します。 受注リレーしている場合、受注伝票の内容が初期表示されます。
先方注文No	得意先指定の注文Noを入力します。 受注リレーしている場合、受注伝票の内容が初期表示されます。 Point ・納品請求書の摘要欄に出力されます。
摘要ｺｰﾄﾞ 摘要名	摘要を指定します。 コード欄ではSpaceまたはF4キーにて摘要マスタから選択することができます。 Point ・摘要コードを入力せずに摘要名に直接入力することもできます。 ・マスタより選択後に摘要名を変更した場合、その内容は当伝票にのみ有効となります。 マスタの内容は変更されません。 ・納品請求書の摘要欄に出力されます。
メモ入力 (ボタン)	伝票ごとのメモを入力することができます。 ボタン押下にてメモ入力画面が開きます。 メモ入力している場合、メモボタンがオレンジ色になり、横に入力内容が表示されます

3） 明細情報（明細部） 項目の説明

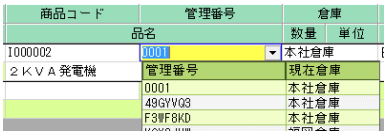
入力画面の下部にある明細情報欄の商品が指定できる箇所を明細部と呼びます。
明細部には、売上内容を商品ごとに1伝票256行まで入力することができます。
各行を入力すると、画面下部の計行に各項目の総計が自動計算され表示されます。

明細行横スクロール続き



・項目によっては、上部メニューの「その他」→「伝票設定」から表示/非表示を
設定することができます。
非表示に設定した項目は画面上に表示されなくなりますが、値は設定されます。
設定内容はログイン担当者別に保存されます。

項目名称	説明
行No	先頭から自動で行Noが付番されます。 256行まで入力可能です。 「＊」マークの行は、まだ何も入力されていない行です。
削除 （ボタン）	入力した行を削除する場合、この削除欄にマウスでチェックを入れます。 （チェックを入れると行全体がグレー背景になります） その状態で伝票登録するとチェックを入れた行が削除されます。 Point ・以下の明細は行削除できません。 ・受注入力の出荷処理で作成された明細行 ・継続処理で作成されたレンタルの明細行 ・検収入力で作成された、整備や滅損の明細行
伝区 （伝票区分）	以下の伝区より選択します。 伝区は現掛区分の設定によって掛/現金に変わります。 以下では掛売の場合で説明します。現金の場合は読み替えてください。 ・掛売上 ・・・ 通常販売する商品を指定する場合に選択します。 倉庫を指定している場合、在庫数が減少します。 ・掛売返 ・・・ 商品の返品を指定する場合に選択します。 数量を入力すると自動でﾏｲﾅｽ表示になります。 倉庫を指定している場合、在庫数が増加します。 ・掛値引 ・・・ 商品ごとの値引きを入力する場合に選択します。 原価は入力できません。 単価を入力すると自動でﾏｲﾅｽ表示になります。 在庫の増減には関係ありません。 明細合計に対しての値引きを入力する場合は値引用商品を 予め登録しておき、それを使用します。

項目名称	説明
	・掛経費　・・・　諸経費を入力する場合に選択します。 原価、倉庫は入力できません。 諸経費を入力する場合、「送料」などの商品を商品マスタに登録しておき 商品に「送料」を指定します。 諸経費で入力された商品は在庫増減されません。（倉庫選択不可） ・摘要　・・・　摘要行を入力する場合に選択します。 品名と備考のみ入力できます。 入力した品名などは貸渡書や請求書に印字されます。 品名欄でF4キー押下にて、摘要マスタから 選択できます。その場合、品名に摘要名が設定されます。 **Point** ・以下の明細行の伝区は変更できません ・受注入力の出荷処理で作成された明細行 ・継続処理で作成されたレンタルの明細行 ・検収入力で作成された、整備や滅損の明細行
出荷	受注伝票からリレーしている場合、「全数」と表示されます。 受注伝票からリレーしていない場合は何も表示されません。
商品ｺｰﾄﾞ	売上した商品ｺｰﾄﾞを入力します。伝区が「摘要」の場合以外は入力必須です。 コードを直接手入力するか、SapceまたはF4キーにてマスター覧より選択することもできます。 **Point** ・商品ｺｰﾄﾞを入力すると、商品マスタに設定されている 「品名」「単位」「仕入先」「商品種別」、及び各単価が初期設定されます。 ・運用設定の登録内容によってはSpaceキーで商品参照すると 伝票の得意先＝商品マスタの得意先　の商品を表示することができます。 商品を主に決まった得意先に売り上げる場合に使用します。 ・受注出荷や継続処理、検収入力から作成された明細行の商品コードは変更できません。
品名	売上する商品名を入力します。 商品ｺｰﾄﾞ選択時に商品マスタの商品名が初期表示されます。 表示後の訂正も可能です。 伝区が摘要の場合は任意文字列を入力します。 **Point** ・品名は空白でも伝票登録可能です。 ・変更した場合は当伝票にのみ有効です。商品マスタは変更されません。 ・レンタル行の品名は商品マスタの品名が採用されます。変更はできません。
単品管理 番号	単品管理する商品の場合、単品登録した単品番号を指定します。 リストには単品登録されている単品管理番号と本日在庫倉庫が表示されます。  **Point** ・レンタル品の単品管理番号は変更できません。販売する商品のみ指定できます。 ・単品管理番号のタイトル名称は運用設定にて変更できます。 ・リストに表示される倉庫は配達日時点の倉庫ではなく、現在の倉庫です。 ・除却済みの単品（除却日が登録されている）はリストに表示されません。

項目名称	説明
倉庫	売上する商品の出庫元倉庫を選択します。 伝票担当者の事業所に登録されている倉庫が初期表示されます。 ただし、レンタル返却行の場合は返却倉庫が設定されます。 継続行には倉庫は設定されません。（どちらも変更できません） 各キーを押すと画面が表示されます。（在庫管理する商品のみ） F4キー　・・・倉庫参照画面 F3キー　・・・単品管理する商品は貸出機材確認表 単品管理しない商品は商品予定表 伝区が経費、摘要の場合は指定できません。 Point ・商品の在庫数管理は全て倉庫別に行っています。 ・在庫管理が必要な商品は倉庫を必ず指定しなければいけません。
売上数量	売上数量を入力します。 Point ・レンタル系の明細行や、検収入力にて作成された販売・整備の明細行の数量は 変更できません。 ・数量の入力は必須ではありませんが、在庫管理する場合は数量入力がないと 在庫の増減はされません。 ・数量の少数以下桁数は、運用設定にて修正可能です。
単位	数量の単位を入力またはリストから選択します。 リストには単位マスタに登録されている内容が表示されます。 商品マスタの登録内容が初期表示されますが、変更できます。 Point ・変更した場合は当伝票にのみ有効です。商品マスタは変更されません。
種別	売上伝区を選択している場合「販売」が初期表示されます。 売上伝区以外を選択している場合は設定できません。 Point ・選択変更した場合は当伝票にのみ有効です。商品マスタは変更されません。 ・レンタル系の明細行は、売上伝票作成時に設定された種別から変更はできません。 受注入力にて出荷取消を行ってから、売上伝票を再作成（返却または請求締切処理） して下さい。（商品種別分類が　日極⇔月極日割⇔月極　の間のみ出荷したままでも 双方向に変更できます。） ・売上伝票で追加した行ではレンタル系の種別は選択できません。 販売系、滅損のみ選択できます。 販売・・・商品マスタの販売単価が採用されます。 （どの販売単価が採用されるかは得意先マスタ「販売単価種類」の 設定によります） ただし、得意先別単価を登録している場合はそちらが優先されます。 滅損・・・商品マスタの滅損単価が採用されます。 ・売上伝票で追加した行ではレンタル系の種別は選択できません。 販売系、滅損のみ選択できます。 ・種別によって初期設定される原単価が変わります。 レンタル系・・・リレーした受注伝票の原単価が設定されます。 販売系・・・受注からリレーしている場合は、リレーした受注伝票の原単価が設定されます。 受注リレーしていない場合は商品マスタ「販売原価計算法」の設定に従います。 滅損・・・商品マスタの滅損原単価が初期表示されます。

項目名称	説明
	※ 初期設定される単価については 受注入力 のマニュアルも参考にしてください。
請求期間	レンタル系の明細行の場合、請求期間を表示します。 返却分の明細行では、開始日（または前月締日翌日）～リース止日が表示されます。 継続分の明細行では、開始日（または前月締日翌日）～請求締日が表示されます。
日数、 月数	レンタル系の明細では、請求額算出の元になっている日数、月数が表示されます。 Point ・請求日数は保証日数、保証請求区分、遊休期間設定も考慮して算出されます。 詳しくは 「【1】-8.保証日数、遊休期間」を参照してください。 ・値引伝区以外は直接入力できません。 ・値引伝区の場合は入力ができ、金額算出に利用されます。 金額 ＝ 数量×単価×日数 値引伝区の場合、日数＝0でも日数＝1として金額を算出します。
原単価	売上原価の単価を入力します。 伝区が売上か返品のみ入力可能です。 入力内容にしたがって初期設定されますが手入力による訂正も可能です。 Point ・販売原価計算法に最終仕入を指定している場合、「売上日」を変更したときに再設定されます。 ・受注リレーした場合は、受注伝票から原単価を引き継ぎます。 ・種別によって初期設定される原単価が変わります。 ※ 初期設定される原単価については 受注入力 のマニュアルも参考にしてください。 ・Wリースの場合は原単価（仕入単価）、仕入先を設定しておくと明細表などで仕入先別に集計をすることにより仕入原価を集計できます。
単価	売上単価を入力します。伝区が摘要の場合は入力できません。 商品種別と得意先マスタの単価種類の設定に応じて初期表示される単価が決まります。 継続処理や検収入力で作成された売上伝票でも、単価の変更は可能です。 Point ・受注伝票を元に作成されている売上伝票では、売上伝票作成時の受注単価が採用されます。 ※ 単価については 受注入力 のマニュアルも参考にしてください。 ・検収入力にて作成された販売・整備分の単価は検収入力で指定された単価が設定されています。
売上原価	伝区と種別にしたがって、売上金額と同様の計算式で初期設定されます。 手入力も可能です。 少数点以下の端数は、得意先マスタの金額端数区分の設定が採用されます。 （切捨、切上、四捨五入） Point ・売上金額～基本料までを含めた売上額と、売上原価の合計で伝票全体の粗利と粗利率が計算され、計行に表示されます。 ・Wリースの場合は原単価（仕入単価）、仕入先を設定しておくと明細表などで仕入先別に集計をすることにより仕入原価を集計できます。

項目名称	説明
売上金額	伝区と種別にしたがった計算式で初期設定されます。 マイナスの入力も可能です。 詳しい計算式は種別の項目をご確認下さい。 Point ・数量や単価を入力せずに売上金額のみ手入力することもできます。
基本料単価 基本料原単	種別がレンタル系の場合で、出荷した月のみ入力できます。 リレーした受注伝票の金額が初期表示されます。 得意先マスタの基本料単価種類の設定に応じて初期表示される単価が決定されます。 Point ・貸出を2ヶ月目以降も継続した場合は設定されません。入力もできません。
基本料金額 基本料原価	種別がレンタル系の場合で、出荷した月のみ入力できます。 以下の計算式で算出されます。 基本料　＝　数量×単価 Point ・貸出を2ヶ月目以降も継続した場合は設定されません。入力もできません。
仕入先	その商品を仕入る仕入先を指定します。 商品マスタの仕入先が初期表示されます。 SapceまたはF4キーにてマスター覧より選択できます。 Point ・仕入先を指定しておくと、明細表などで集計できたり過去の仕入額を参照することができます。 ・Wリースの場合などに仕入先を指定しておくと、明細表などで集計できたり過去の仕入額を参照することができます。 ・売上内訳表では仕入先が指定されているレンタル行の金額は「Wレンタル」に集計されます。 ・仕入先の使用区分が「仕入停止」「使用しない」に設定されている仕入先は指定できません。
備考	明細行の備考として任意の文字列を入力できます。
遊休日数	請求期間内に含まれる、遊休日数を表示します。
整備対象 商品ｺｰﾄﾞ 整備対象 略名	検収入力で作成された明細行で、その整備や滅損の対象となった引取商品の商品コードおよび略名を表示します。
マーク （ボタン）	マークをマウスでクリックし、チェック状態にすることで 明細行にマーク(印)をつけて、明細表出力時に絞り込みができます。
税区分	売上明細の税区分をリストより選択します。 受注リレーした場合は受注伝票の値が、リレーしていない場合は商品マスタの設定値が初期表示されます。 補税区分はレンタル系の明細行のみ選択できます。

4） 明細情報（計行） 項目の説明

明細部の下に横並びに表示されている箇所を、計行と呼びます。
計行では伝票時外税の得意先（現場）の外税額のみ手入力できます。
その他入力できる項目はありません。明細部の情報を集計して、その結果を表示します。

項目名称	説明
粗利、率	伝票全体の 粗利益＝売上金額計－売上原価計、率＝（粗利益／売上金額計）×100 で計算され表示されます。売上金額、売上原価には補償料、基本料を含みます。 画面には下8桁まで表示されます。 消費税伝票の場合は表示されません。 Point ・粗利益及び率には現在明細行に入力中の金額も反映されます。 ・率の少数点以下は四捨五入となります。
レンタル計 その他計	伝票全体の受注金額を、種別によってレンタル/その他で合計した金額が表示されます。 消費税伝票の場合は表示されません。
基本料合計	伝票全体の基本料の合計が表示されます。 消費税伝票の場合は表示されません。
税抜合計	伝票全体の税抜き額合計が表示されます。（基本料、補償料含む） 消費税伝票の場合は表示されません。
合計金額	伝票の合計金額が表示されます。 消費税伝票ではない場合、税抜合計と同額が表示されます。
総重量	明細に入力されている商品の、数量×単位重量　合計が表示されます。
納品請求書	チェックONで更新すると、納品請求書を発行することができます。 ※　納品請求書は都度請求の得意先のみ発行されます。

5） 売上伝票更新におけるその他注意事項

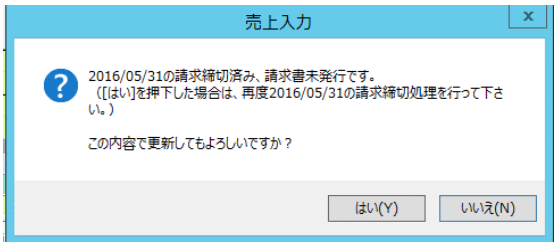
新規、修正、削除　共通

・売上日には入力可能年月日を超えた日付を指定できません。

・「他事業所データ変更可」（担当者マスタ）の権限がない担当者でログインしている場合は、他事業所の他事業所の伝票を登録（追加、更新、削除）できません。

・得意先の使用区分を「売上停止」「使用しない」に設定している場合は更新ロックがかかり、更新（削除）できません。

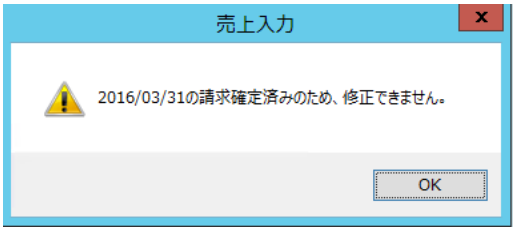
・請求締切後に締切済み期間内の伝票を新規追加、修正、削除しようとした場合、以下のようなメッセージが表示されます。
伝票登録後は対象の得意先に対して請求締切処理と請求一覧表出力を再実行してください。



請求書発行済みかどうかは、請求締切処理後、請求書のプレビューを表示または
プレビューなしで直接印刷したかどうかで判定しています。

・仕訳連動オプションを導入している場合、仕訳作成済の伝票に関しても上記の請求済許可と同様に警告メッセージが表示されます。
運用設定で許可しない設定にしている場合は、仕訳作成済の伝票の修正、削除はできません。

・請求確定処理後に、請求確定日以前の伝票を新規追加、修正、削除しようとした場合、以下のようなメッセージが表示され、伝票の更新はできません。（新規登録、削除含む）
請求確定日以前の伝票の登録が必要な場合は、再度請求確定処理を行って、請求確定日を
伝票が登録可能な過去締日まで請求確定日を戻して下さい。



修正

・修正で伝票を開いた場合、どの項目も修正していないと伝票登録はできません。

削除

・検収入力にて作成された販売・整備の売上伝票は、売上入力からは削除できません。